出張所等があり、満洲 出張所等があり、満洲 五常縣公署、警務局

言語は20

其他は軍

官制草来脱稿 無を呈し來つた大陸科學研究 無を呈し來つた大陸科學研究 に準備事務はその後着々進步 に本選を呈し來った大陸科學研究 萬全を期してゐる 草に着手し、之が脱稿を急いで居たが、此程完成したので で居たが、此程完成したので 近く再ひ委員會を開他、右草 案の審議を行ふこととなつた が事務の都合上今暫く延捌滯 京することとなつた

地脇にあり、今回の沿線氾濫 たい 三果樹から七三キロの の穀倉とも云ふべくの穀倉とも云ふべく

農民達やつミ安心

百名は卅一日午後七時四十分 特別列車を仕立て、白城子に

滿鐵傍系會社

拉賓沿線

評價委員

全貌を一

山家屯は移民適地

市街は驛の西北方ニキロの所 題れな深い。 るばかりに、こうからではか生れます。 人能たちは、そして、時りあひ、或は磨を閉じらしてる もつて、最人種のやうにつくり上げて行きます。そのぬ

「東京関通」一日は厄出二百 気脈は今朝九州、四國を通じ 下の農家ではせめて二百十日だ んで居るが幸なことに高氣壓 けでも荒れぬ様にと僥倖を前 が北海道から東北地方の海岸 つて居たが中央氣泉豪では大 を通つて東の海上に南下して 丈夫全國的に雨だが颱風や暴 低氣壓を喰ひ止めやうとして 東雨の心配はない天氣は當分 居る、氣溫も卅一日から急に 風雨の心配はない天氣は當分 居る、氣溫も卅一日から急に 風雨の心配はない天氣は當分 居る、氣溫も卅一日から急に 風雨の心配はない天氣は當分 居る、氣溫も卅一日から急に 上 大丈夫だと太鼓判を押し 三、四度は低い、かくて今年 本 にあるが大して心配はない低 い

上本人の拉林進出者は駐屯軍 の大けである、日本娘子軍の活 を目留とした御用達、料理 の大けである、日本娘子軍の活

造振りも目覺ましい 神心に相當活氣があり、店舗 中心に相當活氣があり、店舗

京常は昔の歌喜賞である、一五常は昔の歌喜賞である、一

見付けた旅人が、

背にゆられ、適

が数地を設定して居るから、 紫榮の中心は預江緑方面に移 が数地を設定して居るから、 各鐵道開通 満鐵線との

B

九魚類及肉類八六、六半他食は穀類一二四、二疏楽七六、は穀類一二四、二疏楽七六、

国となり其の全資産中に占む も割合に前期末の二十八%十 し前年同期の三十%三十九に 比すれば實に四%七十一を減 少してゐる 一方有標證券は昭和六年六月 不以來每期增加してゐるが、 その增加額は今年上期中最も をの場面を表する。

有價證券:平0人 15%34 有價證券:平0人 15%34 有價證券:平0人 1115人至 有價證券:平0人 1115人至 有價證券:平0人 1115人至

を示し即ち全品目に亘つて膠○一、五衣料及鞋類一○二、八の指数一段無線一○二、八の指数

生保遊資投資時代

有價證券に盛に投資

全資産の五

十六%に上る

類一二一、二蔬菜一一九、二 市の小賣物價は前担に比し穀 市の小賣物價は前担に比し穀

事のため白城子に移轉する事 のため白城子に移轉する事

主要都市物價指數

中 浦鐵倍米會社中近く解放され 日午前十時から開催され各會 社の解放具体案を審議し正午 社の解放具体案を審議し正午 社の評價額る困難なので右委 その評價額る困難なので右委 員會とは別項に評價委員會を 組織し評價することになる慎 を及ぼすものであるが解放會社の評價は

山家屯は拉法を北に去る一二 一四キロ、本線の略々中點に位 する人口四千位の街である、 大流地方から肥土を押流して 来るので地味肥沃、耕さずし で地方である、拉林、溪浪兩河 の沿岸地區は、有場な移民地

市街は四周土壁で園銭され、市街は四周土壁で園銭され、市街は四周土壁で園銭され、市長太陽公司出張所等が主な後地楡樹との特殊關係があるが、間響地は特強背との特殊関係があるが、相当変电の間にバスを定期に毎かすれが、相管の音楽は此の楡樹ーである。対金は三個である、対金は三個である。対金は三個である。対金は三個である。対金は三個である。対金は三個である。対金は三個である。対金は三個である。対金は一個である。対金は一個で、関係運輸に毎ので、関係運輸に毎のであるが、

鐵道事約所及ひ管内の連絡通 南滿方面との連絡のため新京 南瀬方面との連絡のため新京 比較して二倍以上の増加を示道電報の如きは昭和六年度に道電報の如きは昭和六年度に 電報中絡激增

昭和七年八十三萬九千四十三通、昭和八年百六萬二百四十五道

トの大學生(こ)

「チチヘル関通」 白 七

道が子へんな

ル補

5白日下に暴露された

極東軍司令部の指令下に

九站島吉舎河を進行中の第 三國際列軍は匪賊のレール 三國際列軍は匪賊のレール 可脱の爲め手荷物車一、郵便軍大破、三等 一方不明となる

東部線密峰-小九站間の鎌 東部線密峰-小九站間の鎌

(註) 第九二號貨物列車は全部哈市្
の軍需品を消載したる日本軍用列車で、列車間 で、列車間で、列車間で、列車間では一一両射撃を加へ必ず貨物を

赤色テロの魔手四

滿鐵建設事務所

七三十八州加じた

◆各期末運轉資産補類別割合 「大本年六月末 八年六月末 「大本年六月末 八年六月末

から、後には近の次で をして大概での、一 をして大概での、一 をして大概での、一 持つてるなかつた。

いた情報であること、それから、起居に作が、時間的に総数であることが、概論に必要だってあることが、概論に必要だってあることが、概論に必要だってあることが、概論に必要が、 かである。てんで、 も突然に、 郎には、お なかつた。 なかつた。 なかつた。 なかつた。 ながに、ない、それはに急性の 生った脚っぽら、生った脚っぽら、生

工職は、工職した金で、食べ

以の右手の、 類型子の 強から、 とアノの鍵を叩く 管が人に メンを買って、アペートへ 論って

十九通(七萬十千四百五十十一通(七萬三千五百九十十一通(七萬三千五百七十二通)七月十一萬九百六十二通)(八萬百九十六通) 本新京輝

切けてるたちの

ところで、エ

利用し匪幽霊肺列車襲撃

事 (二四) 七月廿五日午前六時 (二四) 七月廿五日午前六時 (二四) 七月廿五日午前六時 (本郷九二號貨物列車は原賦) ・第九二號貨物列車は原賦

河の線路を匪團破壞計畫

場せられた

(二三) 七月十三日午後四時年東部線密峰一小九站間を半東部線密峰一小九站間を半東部線密峰一小九站間を進行中の第五一號貨物列車は腫賊の爲めレール取除されて居た爲め機關車一、貨物配限の一齊射撃を受け貨物を全部掠奪、滿兵三名、機

本北鐵西部線列車事故 ・ 三十分チテハル附近で國際 三十分チテハル附近で國際 列車匪賊に襲撃されたる惨 事あり、日本人八名負傷、 事為の、日本人八名負傷、 事あり、日本人八名負傷、 事あり、日本人八名負傷、

ル二本、電信電話全部 東部線山市― 下林間の

寫眞族作機

それまで戦ー

一東三文に叩き襲り、それもた ありつくまでは、顕いって動か **川筒品安膏** 祝町子目中日 博多屋 連大店本

づ、脚隊を見付けなければならからう質はない。それよりもさ 三量を借りた。乏しい問題を、 質はない。それよりもは 刷印

三方 電三四三八条

京新二川用

當タク

シー

~!!

御

次

第

配

車

參上!!

何時でも何處でも誰

優秀車揃ひの

祭イプライター 印書 新文日之出町ニノナ六 新滿社

御の車動

「誰も

高級車」

一陽堂開治療 あ 最話五八二九番開治療院

自

からした無数の野闘の中で、どう

際に変えています。

ク、ナツシュの全部三四式高級 秀車ダツデ號一五合を初めピッ

車本位で奉仕いたします

この混乱は、おなじ人間辿のあひだをさまざまな形式をこの混乱は、おなじ人間辿のあひだをさまざまな形式を

港の

彼女逵

皆様日頃の御愛顧に酬る爲最優

作者の智器

峰

子

最後の切礼八枚

宗內

誉 新京タクシー 新京人船町三丁目七

新京驛專屬 電話三四五九四番 電話四九七七番

人でも 滋養

創業三週年紀念

(平安町附屬地鐵北方面の御方は直接課事局

へ御電話願ひます

景風外郊の月九……に服



米總領

事

女藤機關長に米人救出懇請

出る謀長

廢森清一郎

機構改革折衷案

各省局課長會議で作

支那人送還者

野政管理局事務官 野政管理局事務官 気尾松太郎

0

廣告

0

用命

電話三三〇〇番

南部線事件の成行重視さる 乎抗議

版田外相は一日飼大使に折返し詳細事情調査方の測電を發した即ち 単に事件發生の報告に過ぎず未だ時局の狀況、胆賊の背景、裏面に伏在する複雑なる関係等に多大の疑問があるので、 國通」北鐵南部線五家子驛に於る 列車順覆事件に関し外務省に一日正午菱刈駐瀬大使より 公電があつたが右は

廣田外相から訓電

近驛員が逃亡せる事實等で事態は列車遭難の頻發する 東部線に於る狀况と符件が從來最も安全な北鐵南部線に發生せること、遭難者に一名のソ聯人なく附 すれば帝國政府としては斷乎抗議の要あり 合するところあり若し萬一事 件の裏面に赤化從業員の陰 謀加擔の事實が判明 外務當局として最も深甚の 注意を以て事件の成行を見てゐる所以は今回の事 (東京國通) 大震災十周年記 たが、大震災の恐しさを忘 にたが、大震災の恐しさを忘 にたが、大震災の恐しさを忘 れた今日此頃市民に對し當時

右の如く事件の成行は極めて電大なるものとして各方面より重観されてゐる

治法撤廢等

は靜觀

民會率

近視的策動反對を申合す

に爲してゐる、

賊沼澤 を連行

討伐軍は

政部等協力一日拂蝗より行動についてはハルビン若山〇團 落松花江中間の沼澤地帶を人 至り五家子經西方許家窪棚部 平の五家子経西方許家窪棚部 重な手配をして一味の一綱打 れ恐花江を突破する處れがあ るので討伐縁は同方面にも殿 るので討伐縁は同方面にも殿

海軍解

動が競令された 【東京國通】一日附左の如く 令

網打盡を期す

電見を交換したが、劈頭野口 等に就き各役員三十餘名出席 等に就き各役員三十餘名出席

会務問題は先づ大局に念 といる。日満の関係は不可 である、日満の関係は不可 である、日満の関係は不可 である、日満の関係は不可

のである。しかるに現地満 下に関際聯盟を脱退せるも 下に関際聯盟を脱退せるも へざるところで冷靜なる批 現狀を何等顧みることなく れば尚も質軍閥に對するがのである。しかるに現地滿

と述べたに

満洲國の

光を 建立 を は 世受すべきこと で に 関しては 民 は に 関しては 民

七時現場着、大安丸は四番 で開東に向け関坐す干別 首を南東に向け関坐す干別 での大梁十二尺にして煙突 での大梁十二尺にして煙突 での大梁十二尺にして煙突

麂

「ダイヤ街」目扱り場所

合证

歸國ニ付き至急讓

JV

左

記迄

領事館前 興信館加藤代書

後任は王正廷氏 (南京一日登)過回」駐ソ支那大使額惠慶氏は病氣を理由に たと内定、近く正式に離令公 たと内定、近く正式に離令公 をである

事務所員及ひ押しかけた家族連は憂慮に閉ざれてゐる驅逐連は憂慮に閉ざれてゐる驅逐艦薄は一日早朝現地に到着せた連絡に成功してゐない、なた連絡に成功してゐない、なた。 「這種管事務所中野茂氏と判明 【安東國通】大安汽船會社事を編めついあり、遺離現地へは昨夕敷助船を派し又明日はは昨夕敷助船を派し又明日はは昨夕敷助船を派し又明日は潜子溝回は汽船を以て連絡したが勝四部プイは趙子溝を取るったが超子溝回は汽船を以て連絡した。 超子溝回は汽船を以て連絡したがある海地子溝安東間のみ電話による。 連は憂膩に閉されてゐる驅突事務所員及ひ押しかけた家施

尚其後の救助人員は一切不明監視中

希望者履歴書持念本人出頭のこと

大連新聞社新京支社

外交員募集

を距る二海里の地點に碇泊

器

救助船から

第一報 日午後三時六分新京蕭列車 山口鐵道部大長は(滿〇)沿 口鐵道部次長

鑛素。出

で居るポルトガル政府が最近 と互惠的新通商條約を締結し と互惠的新通商條約を締結し でポルトガルと利益変換を約 ▲ 國州建設局 陸上競技場關 電源新築工事 電算額 二、九九二国○○ 開札日 九月一日

新に交渉開始に決定

も右の超旨に出たもの

氏の令息と判明した 氏は貴族院議員藤澤利喜太郎 氏は貴族院議員藤澤利喜太郎

元電通記者も

現地へ急行

太郎氏の息

図録領事館にアメスス穂領事 造憾の意を表す 造憾の意を表す

過危しなどの洗散ある折柄。

地を訪問収調べの短

設、遺離現場に急行した 本〇團長は部下〇〇名を率ひ 本〇團長は部下〇〇名を率ひ 本〇團長は部下〇〇名を率ひ 、遺離現場に急行した

明 時名の救出に総意努力中である」と述べたに對し米總領事は「好意を諒とする」と述べると述べると

三土前鐵相の起訴

居ることは注目されて

は八月末現在途に四千九百八 「吉林國通」吉林の居留邦人

対ポ國新條約

十に達す

吉林の

司法首腦部

懲よ確實か

9

政治的影響を首相慎重考慮

田首は一日事態を電観し午を仰ぐ手積等を協議したが開

(東京國山)中島元商相等に 日午や岡田首相に詳細報告した小原法相は午後二時半法相 中や岡田首相に詳細報告した小原法相は午後二時半法相 大村刑事局長と重要協議を行ったが檢察電局としてはこの さるでは遺憾ながら三士前機 相を質證罪で超訴するほかな いが、同氏は三度も憂閣に列 した人物であり、からる した人物であり、からる した人物であり、から した人物であり、から のることは中倉風数上に及ば

| ・ルトガル通商航海 ・ルトガル通商航海

ガル政府は一九三

一、從つて求政府は日本、ボー、從つて求政府は日本、ボルトガル間の友好關係を維持發展せしめるが爲め現行特發展せしめるが爲め現行時に強見せ要定取締めにも低に強見せ要にあるが、現在日本と質ふにあるが、現在日本と質があるが、現在日本と質があるが、現在日本と質があるが、現在日本は輸入超過であるが

で起訴するに當り上奏御裁可て詳細報告をなし僞證罪とし

藤澤氏は

可及的急速な救出に就き極

映崗會社員ョ

フース領事も満足の意を表して辞 を所持せる者あり、列車四の る管回答した、依つてアダム ほ腫脱は武器の外に棍棒、鍛成 して、適切有效の手段を調ず と格闘の後拉致を免れた、な は可答した、依つてアダム ほ腫脱は武器の外に棍棒、鍛る管回答した、依つてアダム ほ腫脱は武器の外に棍棒、鍛る管回答した、依つてアダム ほ腫脱は武器の外に棍棒、鍛工 大名は奇蹟的に無事でロイテ としました。

本〇團長

線上は今や列車地獄の觀を呈れで、一味の所爲により北鐵・

として列車の爆破、顕覆事件り、過去数ヶ月間に亘り類々

七十一名
【東京國通】三十日神戶入港の笠置九に支那人設選者七百二十二名が乘船してゐるとの報道があつたが右は七十二名

事工任責水防的對絕

薬三割位を混用した丈けで如何なる水脈のある場所でも完全に且永 鑛素はコンタリート又はモルタルを作る時使用セメント量の一割乃 年海 會 議

佐出出 重永

書計

流産を豫 各國 意見の對立で 想さる・

發海軍大臣 秘書官 黎海軍大臣 秘書官 黎海軍大臣 秘書官 北海軍大臣 秘書官

大震災記念日に

中部兩

し、替ふるにして現存係の

一十、張一を関も張は全く

であり、又現行比率固執に對する米國海軍の態度は想像以上に頑強なるものがある更に 大國側は輕巡洋艦以下に於て は大陸に於るフランス、イタ リー海軍との對抗上現在の對 米均等比率を引上げんとする 一市民一ヶ浦海岸にずら 日は同僚に運轉されて流石は 店費得電のスピードを利用し てあざやかな集合振りを見せ であざやかな集合振りを見せ

二百臺、集つた大タク深轉手 日、鮮 満人は約二百六・名 園話せよ」「生活権擁護の爲 めに園結せよ」「生活権擁護の爲 めに園結せよ」「正當なら驱 木の貫徹を期せよ」等のスロ 一時會議に入るや事こゝに至 つた経緯及ひ六日間に亘つて

時に至つたが、一方調停に乗って大いに氣勢を擧げ午後二つて大いに氣勢を擧げ午後二つで大いに氣勢を擧げ午後二つで大いに氣勢を擧げ午後二つで大いに氣勢を擧げ午後二つで大いに氣勢を擧が立つてこれ

行はれた勞費間又涉の經過

小學軍大

錢錢錢

大安號遭難後報

連絡不能で憂慮さる

十二四十十 演然大士勇三部阿●井三●五碳

速大店 本 能用安田兽四省

中心に馬越事務、仙石友愛會 を親すや一詞拍手を以てこれ を親すや一詞拍手を以てこれ を親すや一詞拍手を以てこれ を親すや一詞拍手を以てこれ を親すや一詞拍手を以てこれ で記べるや一詞萬歳を叫ひ 一、僅かにせよ市民の足を郷 サービスを以て市民に謝す つたことに就いては一層の サービスを以て市民に謝す で、職後「団を幹事に一任する」 と述べるや一詞萬歳を叫ひ サービスを以て市民に謝す であることを確信する」 と述べるや一詞萬歳を叫ひ サービスを以て市民に謝す であることを確信する」 と述べるや一詞萬歳を叫ひ サービスを以て市民に謝す であることを確信する」 と述べるや一詞萬歳を叫ひ

凸 版 版

宣是 新定

大タク

争議解决せん

で我獄東 門明名國院洋 明石高人總骨 月南い相本相 來石獄 學部學 る龍師 界長南

二日より

秋の名籍陣

三日間上映

●鏡素に関する詳細に付ては當店に御照督を願ひます。 引受を致します **鑛素の防水工事は御希望に從つて當特約店で賈任工事として施行御** 久的に防水洗湯が出來ます

會社 I BURNAN BIJ BIJANS SENSENTER REPORTER DE PROZNASA GULDUR SULBEN BURNAH BIJANDER SULBEN BOLDUR DE BERUKE DE BU

話

五四二 八七-五四三 七一九

区目し 氷炭相容れざるかの知 関と新生の関防婦人育とが出 に上には往々在來の婦人聯合

に乗り合せ無事離京した長春 に乗り合せ無事離京した長春 に乗り合せ無事離京した長春 が表版店へ友人知己数十名を招

いが農安地方のペストは依然

ルビン着

新京方面に來る者のなかには を想をみず然るに同地方民で

本 準備を進めて居り、更に常日 というである際のである。 は既に之が敷迎に就き踏般の め大連に赴かしめる筈である。 な は既に之が敷迎に就き踏般の め大連に連行、辞観せし な は既に之が敷迎に就き踏般の め大連に連行、辞観せし な は既に之が敷迎に就き踏般の め大連に違行、辞観せし な は既に之が敷迎に就き踏般の め大連に違行、辞観せし な

数生の詮衡を行ふ豫定 おは同塾では近日中に第二回 なは同塾では近日中に第二回

大整理案は當局

前配二ヶ所に檢疫所があり

八名の人 六十時間を跣足のまら連行され 人質全部を奪還 戰隊員急襲

人質となつてゐたものである。奪還された人の氏名は左の如くである南部線列車襲撃事件で拉致されて以來 約百支里をひきづられ 六十時間匪賊の米の國際的人質を電光石火的に全部奪還した、右人質はさる八月三十日夜北鐵 質となつてゐたものである 奪還された人の氏名は左の如くである 防艦隊の入電によれば江寧、江慶乘組の日本陸戰隊は黒龍江省肇州縣金亮子 キロの地點に上陸し匪賊團を包圍急襲し二日午前十一時三十分どろ日、

會社員宮崎謙二、松本啓三、メトロ映畫會社々員ヨハンソン(米人)、リュリー 商會主リュリー(米人) 吉林省公署ハルビン駐在員村上國太郎、堺市宅合名會社員宅通貞、大神土地 內閣資源局事務官藤澤威雄、同技師內田源兵衛、鐵路總局水運局平田鹿次郎

7 九

ある 匪賊にひさ廻され足は破れ日米人ともに 疲勞と睡眼不足で全く 瀕死 の重態でなほ人質に拉致された人々はワイシャツ、下ズボン一枚跣足の悲慘なる有樣で

匪手から脱出歸還

聯合艦隊拜觀

官声新聞記者六百名赴連

ず成し激げられる、新京で局が心をそろへてやれば必要断だ、昔と違つて日痛當をお先に御免を繰つての大足お先に御免を繰つての大

11.00 B

用品值段 光

配當(復) E

錢錢錢錢錢錢錢錢

語

分二〇秒

る一、五〇

□、三〇 講 演演 演演

角演

1、00 演

満洲國政府の肝

伊藤榮証氏

命拾ひの宴

もの、検疫所も今日までには 一覧けて北峨にぞうて入京する が再鎖が王家皮舗に検疫所や

引致されん

「大通國地」 鹿児島生れ常時大石橋石橋町居住の某會社員 一段校公二八)は同地満洲領 一段校公二八)は同地満洲領 一段校公二八)と旅行に行くと 東ホテルに二泊役女の元の抱 主である逢坂町浮舟に二人し 主である逢坂町浮舟に二人し 主である逢坂町浮舟に二人し を番に捜査顧を出し心當り捜 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 が出したので浮舟より若狭町 を重い、連鎖街柳屋アパートに

加里を感込んだので直ちに最 ・ 加里を感込んだので直ちに最 ・ 動の病院で手當を加へ更に ・ 動した、警官が男の服毒を知 ・ のした、警官が男の服毒を知 慶應の卷 肉は破れ瀕死の重態

が練習初めの日から病院に入な練習に入つた御大腰本監督

を です、長い間 です、長い間 でするました

れて来たものら れて来たものら れて来たものら たらしく立

〇、〇五

况一、四〇二

ニュース (藤) (藤) (東京より)

ト級のところにも

の回巡打

ラチオ豊操 (東京より) 満語講座 (東京より) 満語講座 漁

師の鑑定を受けるれば一日の





純東正京

益々好評に付日延 高島易斷本

川張ダマッテスワレパピタリトデタルへアタラネば料金いらぬ東京本部に引上げ保定の所當地より、信鑑定多数聚るに付き止

島近泉師來 明日九月七日 北月七日 は近隣を逸せず今直く来りて定計ある師はに解めし…キット幸福に導く一日おく

日本橋通六四 (南廣場下る) 品三単行領上る と 要附 朝入時 変九時 変九時

スホテル

七、四〇〇

七二〇

O、四〇 經濟

◇○五 極資

済市況 語)

員

履歴書携帶九月三日午前十一時本人來談アレ 五 新京永樂町二丁目四番地

食料品 卸商

電話四八四八番

おな お買物上手は 専門店で… 連大 Ping.

の回る。 値質を段色は合 皆様から御好評を頂いております

ゼヒー度見本を御覽下さい(見本送呈) 取扱へました(全部六百余色) 既に木年の新柄、色彩 細毛糸から太毛糸まで既に木年の新柄、色彩 専門店の誇りでございます

ワ毛糸専門店大連大通 三越

紙は官製 九月五日 賞 (九月五日附宵印あ) (壹等當撰者) ガキに限る 集

一條通

電話二五五四

聯合兩婦人會妥協成り

く世間で揣摩臆測せられたの

近 大整理發表 東京國通】東京市電空前の 東体案成り近日中に發表の運 と之れによる勝來の禍根を一 と之れによる勝來の禍根を一 と之れによる勝來の禍根を一 と之れによる勝來の禍根を一

たり、昔は白に をなしてゐる をなしてゐる をなしてゐる をなしてゐる をなしてゐる

第四歲馬(七頭)一四等外 四天等外 三等 一一等外 三

湖作品四五

アッパッオ

聲明書を發表

察團員廿名

けふ過京歸國

古非警察廳では農安方面のペーで三日間四間房において交通 三十日から農安街道水泉寛城 第二日九十一人、第三日 一日から二十九日までに同所 全を捌すること」なつた。 を通行したもの四百七十四人 全を捌すること」なつた。 を通行したもの四百七十四人 全を捌すること」なつた。 を通行したもの四百七十四人 全を捌すること」なった。 を通行したもの四百七十四人 を通行したもの四百七十四人 を通行したもの四百七十四人

東京市電

●平康里の枝 をやると端

富(復) 目

た。三〇

(大阪より)
 (東京 大阪、名古屋より)
 (東京 大阪、名古屋より)
 (東京より)
 (東京より)
 (東京より)
 (大阪より)

愛媛教育視

ペスト

檢疫所を新設

では二十七日から二十九日ま 京するものがあり首都警察廳

向上塾の卒業生

(東京関通) 竹久夢二 書伯 (本名竹久茂二郎出) は昨年 末以来長野縣富士見野高原に 療養中一日午後六時五十分死 去した享年五十一歳、氏の織

てゐる

カフェー店名

大、〇〇二二 氣象

事質上四割の より八百萬圓か より八百萬圓か

に異彩を放つて居た事は餘り 夢二作として明治後期の書壇 はの追随を許さぬ妙味をもち

全部賣切れ

四間房にも

知つてこれをのがれるため最重な身体検査をされることを

外には威容を示し内には益々 の雅展をなしつよある國防経 の雅展をなしつよある國防経 すは情に於て忍ひ得ぬ處もあり、又中には意義ある事業を 他に奪はるゝかの如く曲解し で反對するものもあり其間多 選元し名も亦賞を現はす如く 明瞭ならしめて創設の趣旨に 精神的活動を使命として異て現在國民皆兵の機則に基

要するに既往戦ヶ月に宜る経 製するに既往戦ヶ月に宜る経 勝合會を崩壊せしめんとした と考へるのも盲斷であり、又 締合會は弦に會本家の使命に 選り限防に關聯する一切の活 しまれを最も適はしき國防に関聯する一切の活

支那人

人の入

一日から朝

鮮總督府府令勵行

鮮人勞働者を

レ ラ フ レ グ フ ブ ゲ ロ ・ オ レ フ ・ ア ト

国を禁止した。右に

(一)惠六(輪半高)

へ。三〇 時報

ほど音かった。

と置かつた。 一覧の光に限らされた顔は凄い。 一覧になれない弱い男だり

各地國際運輸會社支店 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社

具製

ヌレ破モテイ、タ

İ 87

歌話二九一六番

堂

4

新京神社秋季大祭日本る九月十五日は

學內所 學園都到符(往復別符は 新東頭絡切符(往復切符は 於理、門司、神戸間樂船切 大理、門司、神戸間樂船切 大理、門司、神戸間樂船切 大理、門司、神戸間樂船切 大理、門司、神戸間樂船切 大理、門司、神戸間樂船切

ペンフリリストピューロ 郷沿線主要各種及各地ジ

全具表級高

出前も潔近に不拘迅速に配達致します 無優頭支那料理一式を始めましたから御用命下さいませ 繁してゐましたが各位のおすゝめに依りまして本日から 毎度御好評を頂きまして有難く御禮申上ます夏期中は休

吉姆阿二丁目

お知らせ

司法代書人

民刑訴訟其他一般代書

八卷代書事務所

事

館西

隣

景沈

三月七十二月七

▶目》業營◀

製機上表新 械 造床敷替型

何

(地域) 行友李風哈作

たかわからねえ げて來たから、あとはどうなつ 手のひるむのを見て、そのまゝ 源功と千古も強いて明んだ。 『なあに、今其處で弱盛に出合 り傷だい配する形あれた んだが、ほんりちよんぼりか しましたか?」

認れたようにぐったりとした体で 時で、あく思が切れた」 思ふ心が疑いからか?いやく 男 5ある、私にはその人選が羨ま 捨てく、続しい女に心中立てした

胸から胸へかけてさつと血が起 世間のロシ煙かるからか? あっへ入った。 (体故た? 父上がこはいからか? あって けつしてそんなことはない、で 父上がこはいからかり

に指う呟いた。

平和に安んずべ

E

商

店間專

吉原娼妓 0 高系就生

を解へてくれる 他の中には臨ニ身を織く男も女も して愛想もつかさ

部

信和洋行建機部

海報 参上

●四線の人 難闘を無理に通 むに急なれば

移轉開業等差熱ゆべし

久の利害に闘す熟慮を要す

◎御一報次第見積に参上可仕候◎ アラインド工事部 種材料部 製 公益商會支店 造 造

門司、神戶(大阪行)

鐵工

自動車修繕建築金物請負 新京東三條通 十番地 長春鐵工所

田御田

发房

目丁二切笠豆* あれ七八五電

造

積本 企金

億二千二百七十五萬圓

億圓全額拂込濟



流質品

配達致しに

煙 投

銀行代表電話 三・六一一 公 衆 用 二・三七〇 支配人舎宅 二・一十 支配人代理 二・九六九 共 同 舎 宅 二・一十 支配人代理 二・九六九 共 同 舎 宅 二・二十 支配人代理 二・九六九 共 同 舎 宅 二・六二二 大 同 舎 宅 二・八二二 大 同 舎 宅 二・八二 大 同 会 等 に 大 回 っ 三・九 八 元 1 一 大 回 舎 宅 に 大 回 舎 に 大 回 っ 三・九 八 元 1 一 大 回 舎 に 大 回 舎 宅 に 八 二 一 大 回 舎 に 八 二 一 大 回 舎 宅 に 八 三 七 一 大 回 舎 に 八 三 七 一 大 回 会 に 八 三 七 一 大 回 会 に 八 三 七 一 大 回 会 に 八 三 七 一 大 回 会 に 八 三 七 一 大 回 に 九 元 九 一 大 回 会 に 八 三 七 一 大 回 に 九 元 九 一 大 回 に 九 元 九 一 大 回 に 九 元 九 一 と に 入 元 九 一 と に 入 に 入 元 九 一 と に 入 元 九 一 に 入 元 九 一 と に 入 に 入 元 1 ー ト こ へ 元 1 ー ト 1 ー ト こ へ 元 1 ー ト 1 ー 正金銀 京支 店行



世製 洋服オーバー 毛皮類、淑歌米流行モダン型各種 婦人 子 供特に毛皮各種格安に御願ひ致します) 立を願つて居りまし あらん事を伏して御屋ひ致しますソト兄弟商會支店を宮地日本橋通りにソト兄弟商會支店を宮地日本橋通りに

其他別位立御法女に贈じます 毛皮類、淑女向婦 人 子 供 服

地番二廿通橋木日

0

炭 用 命 11

電話五三九三番へ

各種木炭專門

松尾商

吉野町一丁目十六

勝馬投票券 瓊勝 t 八月 每 日午前(生) 競 馬名名 日日日 (大月日主 馬 雨天順延

日催閉

生ニンミク 9 大彩向食

• 特惠

新" 元 朝 通 H

その他の先にあやしいばかりがしい場合の味が、立ちのぼる総合

作って懸りました。ぬかりはごご

帝用四中

しての甘い夢を辿りてるる。

便りである。

中を見るまでもなく松陽からい

いってで元の確かうやし

雄 涛 羽

一日前九勝党

Ŀ

*花吳座

國產品!

者も御存じではあるまいな

疊の御用命は!!

ワ

力

五

圓圓圓

1 1 5

二九〇圓

文部新設

殿兄弟商

電話二四八二番

ではい、欧州で受収り、内州で

彼にとつては空しい客、淋しい

晴れた空に聞える小鳥の影も

「女でございます」

の草の上に関ロを描いて、それを

に誘はれ落ちた花びらが、踏石の

立のなかに消えて行った。

満洲女

張んで、しづかに辿りを含んだが

雄基

御用命は成可くお早くお願ひ申上げます御用命は成可くお早くお願ひ申上げます

あるかたきかの

の壁の花、濃色な緑葉の花、満起物質の上には吹々たる客花、窓紅

は、この頃無日一間に問題ってい

のの版本心恒川襲守の暗男殺太郎

また後の日先で輝うてるる。

ううつな顔をしてるた。

間の能はすでにたけなはに、

たかのやうに、てかはすらりとは

を記してあそれに思い

清津

三日午回時発 三日・中回時発

ひあがつた。

照九提 新衆の質用五部を利用を対する。 特秋設 露

ホームラン洗染工場 新京東五條通十九

洗張染物の

電五三七九番 御用命は

增招優 員聘秀 ▼西 洋 マクリーニング 洗濯

+

新京ダイヤ街(太陽ホテル前)

商品は全部直輸入致 h

后 開 電品價何料煙 物格 よ 商 専門の店 ……超スピード電話五八六九番……低 廉 御用命用は 開店致ました し居り

機械設置新式 外職內 交工地 奉 店板看丸の日ニセ四話電 灯提